

会 議 録

会議の名称	平成24年度第1回行田市地域公共交通会議
開催日時	平成24年10月17日(水) 開会；午後2時・閉会；午後2時45分
開催場所	行田市産業文化会館 第二会議
出席者(委員)氏名	山崎明弘副市長、高橋直樹委員(代理：石倉氏)、鈴木貴大委員(代理：鈴木秀忠氏)、長島豊委員(代理：中村氏)、新井忠晴委員、鶴岡洋委員(代理：金川氏)、平野克行委員、内田愛三郎委員、佐々木久二委員、高山和征委員(代理：小山氏)、橋井公治委員、大谷勉委員、 山田貴志委員、内田久雄委員、田尻要委員、岡部紀之建設部長、小河原勝美総合政策部長、小林茂市民生活部長、高橋秀男健康福祉部長
欠席者(委員)氏名	高原昭委員、河野恭男環境経済部長
事務局	地域づくり支援課：浪江課長、菅原主幹、新井主査、嶋田主事
会議内容	(1) 循環バス年度計画について (2) 報告事項(ラッピングバス、ワークショップ、福祉団体との意見交換会、無料期間実施)
会議資料	○平成24年度行田市地域公共交通会議委員名簿 ○平成24年度第1回行田市地域公共交通会議 座席表 ○循環バス年度計画(案)【資料1】 ○報告事項 ・報告事項1 ラッピングバスの運行を開始しました ・報告事項2 市内循環バスワークショップ報告書 ・報告事項3 福祉団体との意見交換会について ・報告事項4 行田市市内循環バスの全コース運賃無料期間を実施します
その他必要事項	傍聴人 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会  会 長 司 会 会 長	1 開会 2 委嘱状の交付 3 会長あいさつ 4 委員紹介 5 議事 ・議事に入らせていただく。 （１）循環バス年度計画について【資料１】と（２）報告事項は関連があるので一括して事務局より説明をお願いします。
事務局  会 長	「循環バス年度計画（案）【資料１】」及び「報告事項１から報告事項４」に基づき説明  事務局からの説明に対して、質問や意見があればお願いします。
高山委員代理小山氏 事務局	ワークショップ第二回目の日程は。 第１回目と違う地域を対象に１０月２０日に開催する。
橋井委員	デマンドの実証実験は車両を購入し行うことになると思う。また実証実験を行うためにはそれなりの費用がかかるため実験のみで終わらせることはできないと思う。このようなことからデマンド導入を前提と考えていいのか。
事務局	現時点では車両の購入は考えていない。費用に関しては、補助金等を活用できればよいと考えている。 また、デマンドの方法に関してもいろいろな方法がある。 行田にあった制度設計が大事だと思う。 その調査とまとめ、また、そこにいたる実証実験をつかうモビリティの部分と調査の経費は今後検討していこうと思っている。

山田委員	【資料1】に平成23年度にアンケート調査を実施したとあるが結果が配られていない。
会長	今回新しく変わられた委員と思うが、昨年度調査をして昨年度の会議でも提示して説明しているが、新しく委員なった方へ追加で配ったらいかがか。
事務局	<p>まとめたものを配る。</p> <p>また、アンケートの概要については、3,000件を無作為に市民を対象に送付し、また、バスに乗って聞き取り調査を行った。内容も路線毎・目的毎とかなり詳細な調査結果になっている。なお、バスに乗らない方の回答も多くいただいた。「なぜ乗らないのか」の問いに対しての回答を分析すると行田市民の自家用車保有率が高いことが顕著に出てきた。</p> <p>それから、いずれは自分が運転できなくなったとき、送り迎えをしてもらえなくなったとき利用したいなどバス事業の継続性や運賃・予算についても、市民の皆さんから賛同いただいているというのが調査結果の概略である。詳細については後日お届けする。</p>
高山委員代理小山氏	「のぼうの城」の始まる11月2日から11日までの期間は無料運行とのことであるが、これは乗車人員に添った形での赤字補填が市からあるということなのか。
事務局	<p>今年度は利用者が利用促進事業の効果もあって昨年度に比べ伸びている。</p> <p>補助金の予算額内で十分に年度末まで運行できる見込みがあることから無料期間を実施するものである。</p>
新井委員	<p>2コースについてワークショップ開催とのことであるが、他のコースも実施する予定はあるのか。</p> <p>また、福祉団体からの意見交換会で窓口を一本化という話がでて応じられないとのことであるがどのように対応していくのか。</p>
事務局	実施予定である。ワークショップを行う地域は、市民の皆さんの

	<p>ニーズとあっていないと思われ、昨年度あまり収益が上がっていない東循環コース、北東循環コース、北西循環コースについて実施を考えている。</p> <p>次に２点目の質問の福祉窓口と循環バスの窓口を一本化してほしいについては役所のサービスとしては一本化が望ましいというのは分かっているながらも、地域公共交通というチャンネルでデマンド交通を考える時と障がい者及び高齢者を対象とした福祉の施策として移動手段を考える場合では若干違う。今も並列でサービス提供を行っている。福祉団体との意見交換会で福祉団体の有償移送サービスをしている団体から、「市のサービスも団体が行っているサービスも少しずつ役割を広げていけば重なる部分が増えてくる」といった意見などが出た。それぞれの役割においてカバーできる範囲が広がってくればもう少し便利になってくると思われる。今後も相互に連携し努力していこうという結論に至った。</p>
橋井委員	<p>この会議はあくまでも地域公共交通なので市内循環バスだけではなく、鉄道やバス、タクシーなどすべての交通についての会議にしてほしいことを要望する。</p>
会長	<p>この会議は構成員から分かるように地域の輸送サービスについて協議するもので、とりわけ市が運行している循環バスが議題の中心になってくる。鉄道については一市町村では限界があるのでご理解いただきたい。</p>
山田委員	<p>デマンド交通は流行のように議論されている。</p> <p>成功例もあれば失敗例も多くある。既存の例をよく吟味して行田市が目指しているものができればよいと思う。今現在デマンドに対してどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>埼玉県が取りまとめたデマンドに関する調査を参考に先進自治体と意見交換などを随時行っている。</p> <p>また、加須市が１０月１日からデマンド・シャトル・循環併用する新しい交通体系を実施する。このことについて加須市の担当者</p>

会 長	<p>との意見交換を実施した。今後も実施後の状況について把握してまいりたい。なお、地理的にも特徴のある本市において効果的な実証実験を埼玉県や国土交通省のアドバイスをいただきながら進めていきたいと考えている。</p> <p>他にあるか。なければ以上で議事を終了させていただく。</p> <p>以上で議長の職を解かせていただく。</p>
司 会	閉会

平成24年度第1回行田市地域公共交通会議次第

日 時 平成24年10月17日（水）

午後2時～

場 所 行田市産業文化会館 第2会議室

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 会長あいさつ

4 委員紹介

5 議 事

(1) 循環バス年度計画について【資料1】

(2) 報告事項（ラッピングバス、ワークショップ、福祉団体との意見交換会、無料期間実施）

6 閉 会

# 平成24年度第1回行田市地域公共交通会議 座席表

(敬称略)

日 時:平成24年10月17日(木)午後2時から  
場 所:行田産業文化会館 2階第2会議室

行田市副市長  
山崎明弘様

国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局  
首席運輸企画専門官 高山和征様

朝日自動車労働組合  
書記長 橋井公治様

行田警察署  
交通課長 大谷勉様

埼玉県企画財政部交通政策課  
主幹 山田貴志様

行田県土整備事務所  
管理担当課長 内田久雄様

行田市建設部長 岡部紀之様

ものつくり大学  
准教授 田尻要様

行田市総合政策部長 小河原勝美様

行田市市民生活部長 小林茂様

行田市環境経済部長 河野恭男様

行田市健康福祉部長 高橋秀男様

朝日自動車株式会社  
常務取締役 高橋直樹様

株式会社協同観光バス  
専務取締役 鈴木貴大様

株式会社大堰観光バス  
代表取締役 長島豊様

昭和タクシー株式会社  
代表取締役 新井忠晴様

社団法人埼玉県バス協会  
専務理事 鶴岡洋様

埼玉県タクシー協会  
専務理事 高原昭様

行田市自治会連合会  
副会長 平野克行様

行田市老人クラブ連合会  
会長 内田愛三郎様

行田地区障害者福祉団体連絡協議会  
会長 佐々木久二様

事務局

新井主査  
浪江課長  
菅原主幹  
嶋田主事

傍聴席



出入口

出入口

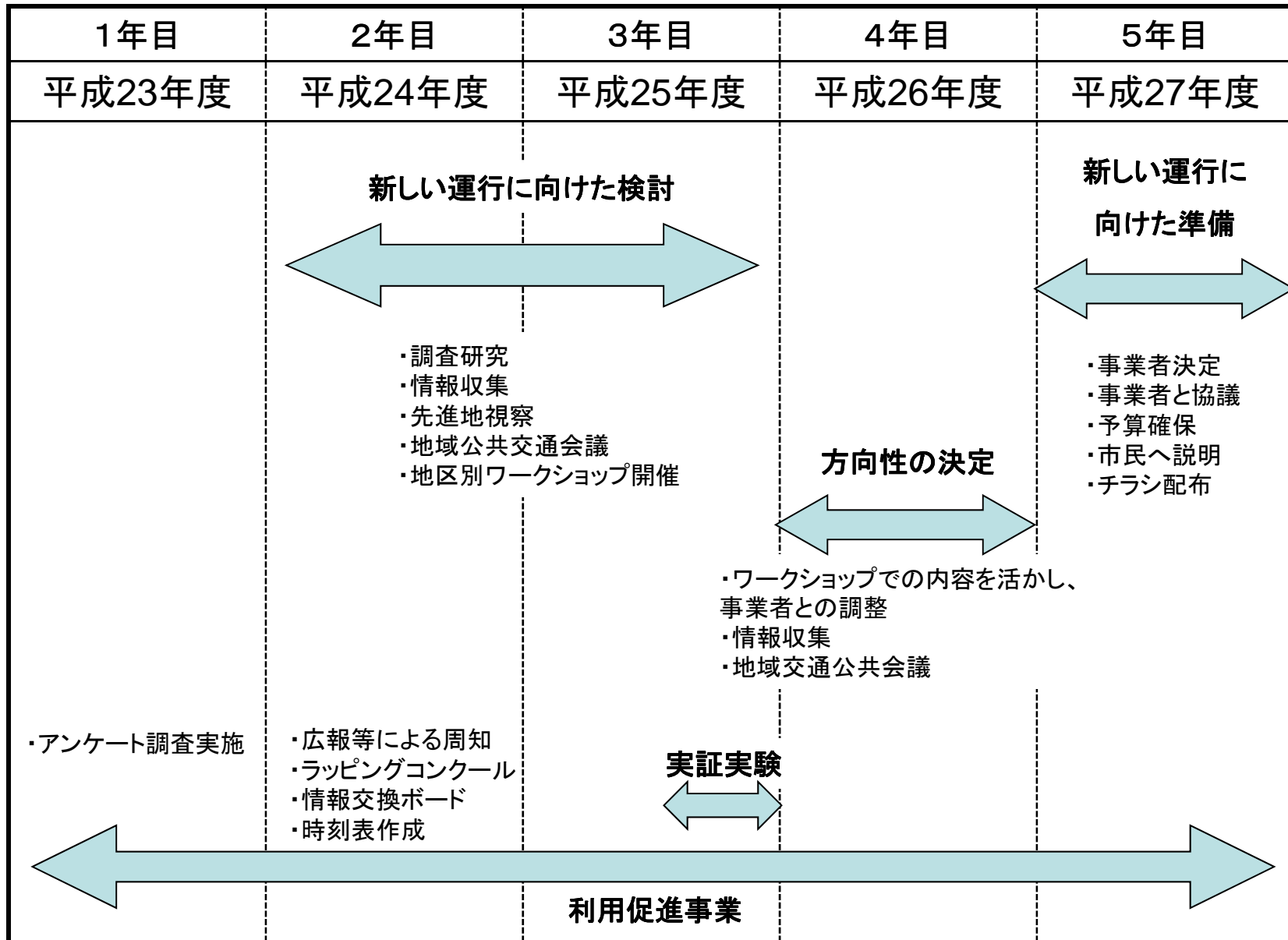
平成24年度行田市地域公共交通会議委員名簿

No.	区 分	団 体・氏 名 (敬称略)	備 考
1	第1号委員	行田市副市長 やまざき あきひろ 山 崎 明 弘	
2	第2号委員	朝日自動車株式会社 常務取締役 たかはし なおき 高 橋 直 樹	
3	〃	株式会社協同観光バス 専務取締役 すずき たかひろ 鈴 木 貴 大	
4	第3号委員	株式会社大堰観光バス 代表取締役 ながしま ゆたか 長 島 豊	
5	〃	昭和タクシー株式会社 代表取締役 あらい ただはる 新 井 忠 晴	
6	第4号委員	社団法人埼玉県バス協会 専務理事 つるおか ひろし 鶴 岡 洋	
7	第5号委員	埼玉県タクシー協会 専務理事 たかはら あきら 高 原 昭	
8	第6号委員	行田市自治会連合会 副会長 ひらの かつゆき 平 野 克 行	
9	〃	行田市老人クラブ連合会 会長 うちだ あいざぶろう 内 田 愛 三 郎	
10	〃	行田地区障害者福祉団体連絡協議会 会長 ささき きゅうじ 佐々木 久 二	
11	第7号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官 たかやま かずまさ 高 山 和 征	
12	第8号委員	朝日自動車労働組合 書記長 きつ い こうじ 橋 井 公 治	
13	第9号委員	行田警察署 交通課長 おおたに つとむ 大 谷 勉	
14	第10号委員	埼玉県企画財政部交通政策課 主幹 やまだ たかし 山 田 貴 志	
15	第11号委員	行田県土整備事務所 管理担当課長 うちだ ひさお 内 田 久 雄	
16	〃	行田市建設部長 おかべ のりゆき 岡 部 紀 之	
17	第12号委員	ものづくり大学准教授 たじり かなめ 田 尻 要	
18	〃	行田市総合政策部長 こが はら かつみ 小 河 原 勝 美	
19	〃	行田市市民生活部長 こばやし しげる 小 林 茂	
20	〃	行田市環境経済部長 こうの やすお 河 野 恭 男	
21	〃	行田市健康福祉部長 たかはし ひでお 高 橋 秀 男	



# 循環バス年度計画(案)

【資料1】



## ラッピングバスの運行開始しました

「ふるさと行田」をイメージした絵でラッピングされた市内循環バスが、10月1日から運行しました。

バスをラッピングしている作品は、市内小・中学生を対象に開催された絵画コンクールで、応募総数 342 点の中から最優秀賞・優秀賞に輝いたもの。

古代蓮、忍城址、はにわ、こぜにちやんとフラベえなどが描かれ、「これを見れば、行田をイメージできる」というものばかりです。

また、バスの車内では「バスナカ展」を開催。惜しくも最優秀賞を逃した作品（コピー）がたくさん紹介されています。

なお、全応募作品の現物は平成 24 年 12 月 28 日まで行田市男女共同参画推進センター2階の壁面に掲示しています。



## 報告事項 2

### 市内循環バスワークショップ報告書

[日 時]：平成 24 年 8 月 23 日（木） 19:00 から 21:00 まで

[場 所]：埼玉公民館ホール

[参加数]：55名

#### テーマ

- ①運賃について
- ②ダイヤについて（最適なダイヤとは）
- ③経路について  
（循環バスの最適な経路、今後どのようにしていくべきか）



#### まとめ

通勤通学の充実、高齢者化社会への対応ともっと重視すべきとの意見があり、また、デマンドやフリーアクセスなどフレキシブルな運行が求められていることと思います。

埼玉地区の住民は行田駅をつかわない。北鴻巣駅、吹上駅、鴻巣駅である。乗り入れを検討してはいかがかとの斬新な意見。

このようなことも重視し、便利なものに組み立ていくことも必要と思われます。



## 福祉団体との意見交換会について

[日 時]：平成 24 年 8 月 29 日（水）10 時から

[場 所]：行田市総合福祉会館「やすらぎの里」

[参加数]：12 名

### [福祉団体の意見]

- 市内循環バスは、バス停まで行かなければならないことと、車椅子 1 台しか乗れない。循環バスは、市民全体の移動手段としてこのままでいいのか検討をしてほしい。デマンドについて、本格的に早急に研究してほしい。また、デマンドに関する窓口を一本化してほしい。
- デマンドバスについては、例えば、イベントに移動手段がないため参加できない独居高齢者のために、イベント開催時間に合わせて運行してもらうなどの用途に使える。

### [地域づくり支援課の意見]

- 行田の地域交通体系を考えると、循環バスは枝の部分を担当している。樹に例えると、幹は JR や秩父鉄道、枝が路線バスや循環バス、個別の移動目的を満たすと期待されるデマンド交通は葉の部分になる。
- 現状での市内循環バスは、交通弱者、観光客、通勤通学者の移動手段としての役割を持っているが、十分に役割を果たしていないことも、アンケートや皆様の声から理解している。課題解決のために先進地担当者との意見交換や、専門家の意見などを聞きながら研究している。
- 今年度はバスに関するワークショップを開催している。すでに、埼玉地区で行った。建設的で前向きな意見がたくさん出た。循環バスは、現状では 6 路線で市域を網羅する形で運行（エリア別）しているが、埼玉のワークショップでも、病院、買い物など目的別で利用できるという意見が出た。
- 埼玉でも「またやりたい」という声があった。利用される循環バスを目指しているので、今日のような機会を引き続き設けていきたい。
- 当課は、地域公共交通の担当課として、デマンド交通サービスについて検討している。きめ細やかな福祉サービスとは役割が違うので、窓口の一本化はできない。
- イベント開催に合わせてバスのダイヤを変えるのではなく、バスのダイヤを意識したイベント開催を関係課にお願いしているところで、引き続きやっていきたい。

## 報告事項 4

### 行田市市内循環バスの全コース運賃無料期間を 実施します



映画「のぼうの城」の公開に伴い、本市に訪れる観光客がますます増えることが予想され、行田市民全体で「おもてなしの心」でお客さんを迎える準備しているところです。

このようなことから、行田市を観光する手段の一つである市内循環バスを「ウエル

カムな雰囲気」で利用していただくこと、それから循環バスを利用したことのない市民の皆様へのきっかけづくりを目的として全コース運賃無料期間を実施します。

#### 【運賃無料期間】

平成24年11月2日  
(金)から11日(日)まで

<参考>

※11月2日は「のぼうの城」公開日

※11月11日は「忍城時代まつり」の開催日

